



チアンジュール地震から1年
チアンジュールの今 ～2023年12月19日～



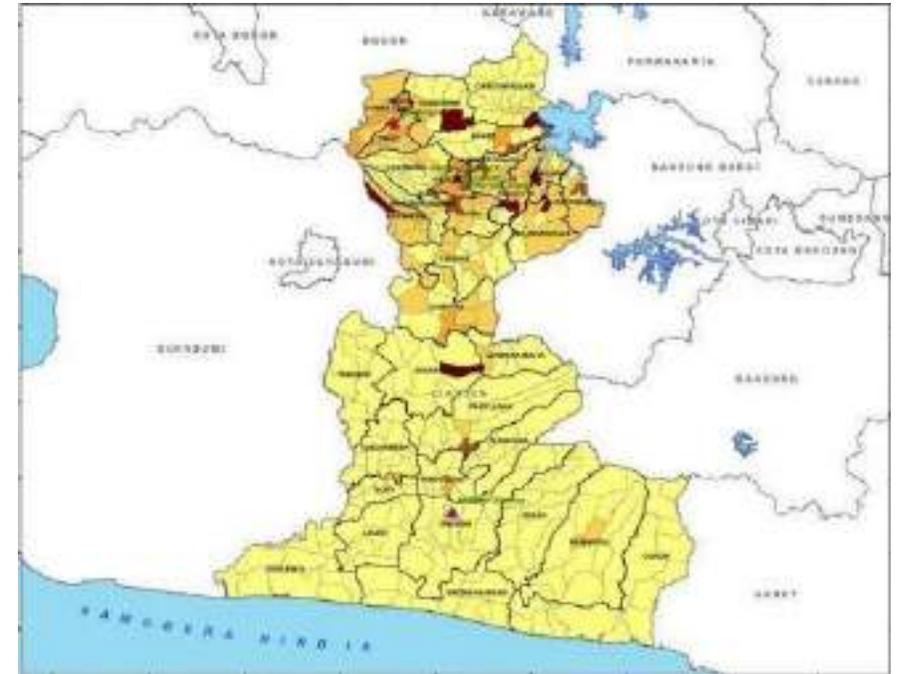
2022年11月21日（現地時間13時21分）

西ジャワ州においてマグニチュード5.6の地震が発生
震源地は、チアンジュール市中心部から南西に12km程度

チアンジュール県の被害：169村

保健施設 18カ所
教育施設 541カ所
死者 335人
行方不明者 8人
避難 11万人以上
家屋損傷 5万6千軒以上

(2022年12月13日時点)
情報；District Disaster Management Agencies (BPBD)



支援活動地域

外務省拠出金 : 4,000,000円

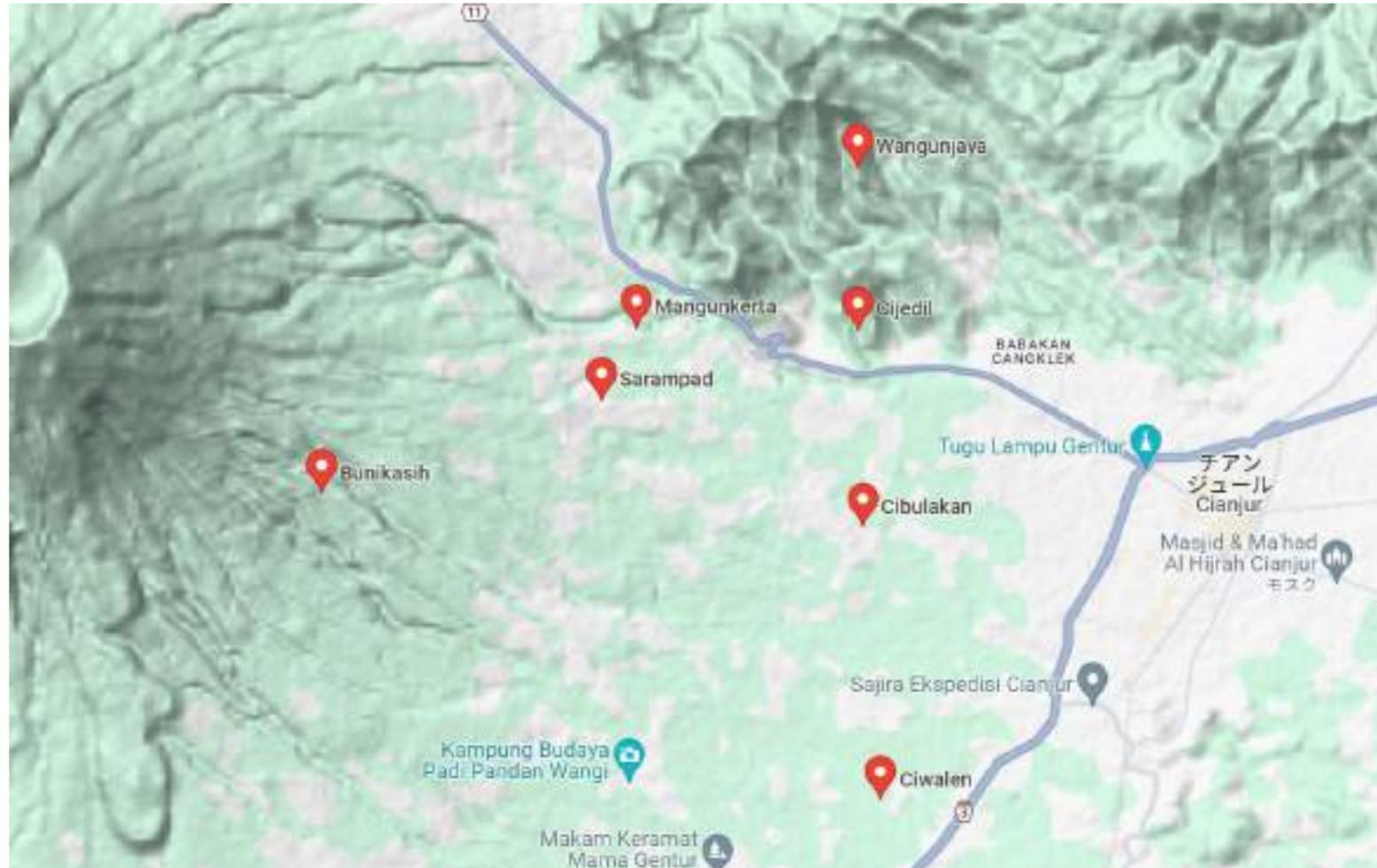
- ワルンコンダン郡チワレン村 78世帯315名
- ワルンコンダン郡ブニカシ村 214世帯
- チュグナン郡サランパッド村ババカン集落 320世帯
- チュグナン郡ワングンジャヤ村ババカン集落 96世帯
- チュグナン郡ワングンジャヤ村
パシールトゥナゲン集落 90世帯

JJC会員企業・個人によるご寄付 : IDR83,450,000 (約720,000円)

- チュグナン郡ワングンジャヤ村 : 2,161世帯、7,350人
- チュグナン郡サランパッド村 : 756世帯、2,267人

JJC義捐金 : IDR586,000,000 (約5,000,000円)

- チュグナン郡チブラカン村 : 1,961世帯、6,372人
- チュグナン郡サランパッド村 : 2,093世帯、8,029人
- チュグナン郡マングンクルタ村 : 2,246世帯、7,598人
- チュグナン郡チデシル村 : 2,298世帯、8,294人



支援活動実績

活動期間：2022年12月～2023年4月

・水衛生

清潔な水の確保／配管パイプ、貯水タンク設置

計197か所

沐浴場兼トイレ 計94か所



・仮設住宅 25か所



・職業復帰支援

約200名



息の長い支援ができるよう努めています。

建設した沐浴場兼トイレは、
出来る限り復興後にも活かせるよう、コミュニティとの連携で「私有地に建設」

チブラカン村に建設した共同の沐浴場兼トイレは、
建設から一年後、個人宅の一部となり使われていました。



今も支援は続いています

チデヂル村に建設したこちらの沐浴場兼トイレは、

建設から1年後、現役で使われていました。

周りの環境もすっかり整い、地域の共同設備として管理されています。

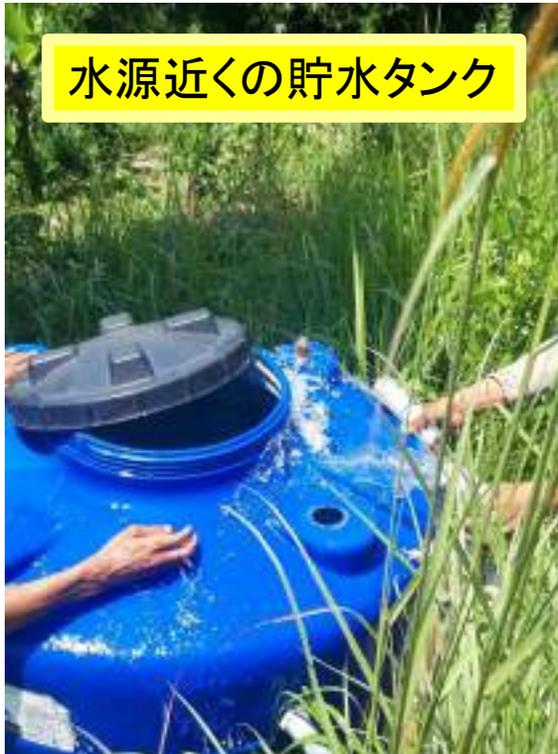


今も支援は続いています

チデジル村に建設したこちらの沐浴場兼トイレは、

建設から1年後、現役で使われていました。

建設当初清潔な水の確保が困難でしたが、今では貯水タンクがあふれるほどになりました。



今も支援は続いています

水源から水を引くための配水パイプは、組み換え自由自在。
割れたら繋ぐ・切って行先を変える・追加する・止める。

復興後も地域の方々が使いやすいように耐久性があり、
住宅再建してもなお使えるように敢えて「見える」部分に設置しました。
一年後、沢山の繋ぎや工夫と共に生活の一部になっていました。



2023.12



2023.12



2022.12



今も支援は続いています

チブラカン村のコミュニティは、
支援を受けた後、自立のための地域経済活性化を試行錯誤。

支援により設置された給水システムを利用して、地域独自のメーター管理。
各家庭が使った分だけ地区長に支払い、集まったお金は同地区の子供達や地区の共同設備のために使用していく試運用を始めました。



今も支援は続いています

職業復帰サポートにより、
元の日常を取り戻すきっかけができました。

道具を手に入れることができた床屋は数か月地元で資金をため、賃金のいい都市部へ働きに出る機会を得ました。
農業は天候に左右されて思った収穫がない時もありましたが、
唐辛子やナス、バナナ、トウモロコシ、米など、力を合わせて奮闘しています。
支援を受けて再開した売店も継続しています。



今も支援は続いています

ほとんどの仮設住宅は、
政府の住宅再建手当支給により不要になりました。
それでもなお、様々な理由で仮設住宅に住んでいる方々も多くいます。





家が再建され生活が戻りつつあります



今後地域に寄り添った支援を続けていきます

